

年頭にあたって

和寒町長 伊藤昭宣



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成二十年の新春をお迎えることと心からお慶び申しあげますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申しあげます。

昨年を顧みますと「いざなぎ景気」をしのぎ、戦後最長といわれる景気の拡大を背景として国は地域経済の活性化を推進しておりますが、北海道とりわけこの地域においては、依然厳しい景気状況下であり、住民の生活はもとより地方自治体の財政に大きな影響を及ぼすものと大変憂慮いたしているところでもあります。

本町の基幹産業であります農業におきましては、春先の好天により各農作物の成育は順調に進みましたが、移植・生育期の干ばつ被害により、南瓜・大豆などの畑作物が大きく減収する結果となり、水稲につきましても収量は平年作並みに止まるなど農業経済に及ぼす影響も懸念され、今後の市況の上向きに期待をしております。

平成十八年度を行政改革元年と位置づけました「第三次行政改革大綱」の実施二年目の昨年は、受益者負担の原則に基づく行政サービスの見直しにより下水道料金等の公共料金や町有施設の有料化など使用料・手数料の改正を実施したところでありますが、町民の皆様のご協力に深く感謝申しあげます。また、行政区の自治会移行では各地域においてご議論を深めていただきその移行準備を進めていただいております。皆様のご努力に敬意を表しますとともに深く感謝申しあげます。本年四月一日に一斉移行し、住民と行政の協働による住民自治の推進を図つてまいいる所存であります。更に町有施設の指定管理者制度の導入では、民間事業者の発想力を積極的に活用し、住民サービスの向上や管理経費の節減、新たな雇用創出を図るため新年度から芳生苑を始め体育施設や三笠山自然公園など民間事業者に運営をお願いする運びとなり、今後も推進していく所存であります。

今年も交付税の減額などが予想され、町の財政状況は自主財源に乏しく、引き続き厳しい財政運営を強いられると予想されますことから、今後も効率的で効果的な行政運営に努めるとともに、町民の総意と協働により「平和で住み良い元氣な郷土 和寒町」を発展させるべく邁進してまいりたいと存じますので、町民の皆様のご理解、ご協力のほどお願い申しあげます。

希望に満ちて迎えた今年が町民の皆様にとって限りなく明るい年になりますようご祈念申しあげ、年頭のあたってのご挨拶といたします。

